

父なる神は真の礼拝者を求めている ヨハネによる福音書 4:19-26

1. 女は言った。「先生。あなたは預言者だと思います。私たちの父祖たちはこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムだと言われます。」(4:19-20)
 - a. サマリヤ人の主張では、アブラハムがイサクをささげた場所、またアブラハムがメルキゼデクにささげものをした場所がゲリジム山だとされていたので、そこで礼拝をしていた。
 - b. ゲリジム山は申命記とヨシュア記にその記録がある。申命記では神がイスラエルの民にゲリジム山からは祝福を、エバル山からはのろいを宣告するよう命じた。ヨシュア記ではそこに主の祭壇が築かれた。
 - c. 言うまでもなくその山は聖書の中で重要な意味があるが、今日、私たちの礼拝と聖なる場所というのはどのような関係があるのだろうか。

2. イエスは彼女に言われた。「わたしの言うことを信じなさい。あなたがたが父を礼拝するのは、この山でもなく、エルサレムでもない、そういう時が来ます。救いはユダヤ人から出るのですから、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。」(4:21-22)
 - a. イエスは、礼拝とは聖なる場所や空間を超えたものだと指摘される。まことの礼拝の出発地点は物理的にどこにいるかではなく霊的にどこにいるかである。
 - b. ただしイエスは私たちが好きなように礼拝して良いとおっしゃっているのではない。イエスは、私たちが何を（誰を）礼拝するのか知ることの重要性を指摘している。聖書を通して正しい礼拝というのは最も大切なことである。
 - c. 礼拝は内側から来るものであるが、外に出るものも私たちの心の中にあるものを映し出す。もし私たちが真の礼拝者であったなら、私たちが求めるものや与えるもの、そして私たちの生き方にそれが表れる。

3. しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。(4:23-24)
 - a. 真の礼拝者は霊をもって礼拝する。これは私たちのうちに神の聖霊が宿っていることを示す。またこれは私たちが聖霊にゆだねることによって変えられていく過程である。ローマ書 12:1-2 では、私たちの霊的な礼拝とは私たちが聖霊によって一新されつつ、私たちのからだを聖い、生きた供え物としてささげることだと教えている。
 - b. 真の礼拝者はまことをもって礼拝する。まことというのは相対的なものではない。正しい礼拝と間違った礼拝がある。神はこの上もなく愛があり、情け深く、あわれみ深いお方であるが、同時に基準もお持ちである。人類最初の礼拝の一つにカインとアベルのささげものがあつたが、聖書ははっきりとアベルのささげものは神に喜ばれ受け入れられたが、カインのものはそうでなかったと記している。
 - c. 神は霊とまことをもって礼拝する者を求めている。あなたはそのような礼拝者だろうか。

4. 女はイエスに言った。「私は、キリストと呼ばれるメシヤの来られることを知っています。その方が来られるときには、いっさいのことを私たちに知らせてくださるでしょう。」イエスは言われた。「あなたと話しているこのわたしがそれです。」(4:25-26)
 - a. 驚くべきことにイエスはサマリヤの女にご自身がメシヤであることを明らかにする。イエスがこのような宣言をされることは珍しい。
 - b. イエスをメシヤとして受け入れることは真の礼拝者になる最初のステップであるが、それだけが必要条件だと思うのは間違いである。
 - c. 真の礼拝者はイエスを心のうちに入ってくくださるよう求めただけでなく、礼拝者として生き生きと意思をもって成長していく。あなたは礼拝者として成長していますか？